

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : ひょうご基幹道路のあり方
 意見 募集 期間 : 平成30年1月26日～平成30年2月15日
 意見等の提出件数 : 33件 (17人)

※ 対応欄

- ①本文に反映した意見 : 0件
- ②原案どおりの意見 : 15件
- ③今後の取組の参考にする意見 : 18件
- ④対応が困難な意見 : 0件
- ⑤その他 (本文に直接関係のない意見や感想) : 0件

項目等	意見等の概要	件数	対応	県の考え方
事業推進	県内を移動する際、東西方向は渋滞、南北方向は基幹道路が発達していないため、それぞれ時間がかかるイメージがある。基幹道路の早期整備により、より暮らしやすいものになるのではないかな。	1	②	既存の基幹道路ネットワークを適切に維持修繕・更新し、機能強化を図りながら、「今後順次整備を進める基幹道路」の2050年までの完成を目指します。
	垂水 JCT から姫路・神戸両方面へのアクセス改善は淡路地域にとっても重要である。	1		
	30年後の基幹道路ネットワークの役割を考えた場合、加古川・姫路バイパスに替わる道路は必要であり、播磨臨海地域道路が「今後順次整備を進める基幹道路」として位置づけられることは必要である。	1		
	基幹道路ネットワーク充実による兵庫県北部、中部の地域活性化が、兵庫県全体の活性化、人口増加につながっていくのではないかな。	1		
	但馬でとれた新鮮な海産物を出来るだけ早く大都市に届けるための道路整備は良い。	1		
	大規模災害発生時におけるアクセス経路の確保、丹波市広域拠点市街地整備構想 (氷上町石生、柏原町新井地区) による地域の発展、県立丹波医療センター (仮称) へのアクセス機能強化が期待できる東播丹波連絡道路は、丹波地域として欠かせない重要基幹道路である。	2		
	基幹道路 IC 周辺の整備や集客施設の活性化などを地域とともに進めていくことも大事である。	1	③	ご意見を参考に、今後の道路の整備や有効活用を進めてまいります。
	観光面においては、地方への立ち寄り機会を増やすため、基幹道路の整備と連動して、地域の道路整備も併せて進めていくことを望む。	1		

事業推進	県の事業による山陰近畿自動車道の整備は、国の直轄事業である北近畿自動車道と比べ、整備の進捗が遅いように見える。山陰近畿自動車道の整備も国の直轄事業で進めて欲しい。	1	③	有料道路事業や国による直轄権限代行事業など、多様な整備手法の活用により、早期整備に努めてまいります。
	公共交通網が都市部に比べて、大きく劣る但馬地域は、道路（自動車）しか交通手段がないため、基幹道路の整備とともに、身近な県道、市道の整備も進めて欲しい。	1		
	山陰近畿自動車道の整備は理解できるが、但馬地域全体で見て、産業面、観光面において、国道9号の整備も地域の基幹道路として重要である。	1		
	神戸市と北播磨地域を結ぶ県道神戸三木線は、北播磨地域の連携強化および産業活動の向上に深く関わる路線であるが、神戸市北区押部谷西盛～三木市志染駅付近にかけて、朝夕の交通渋滞が激しく、改善を希望する。	1		
観光振興	関西3空港の利用状況からもインバウンドがあるにもかかわらず、関西の中で兵庫が遅れをとっているのは臨海部での道路のミッシングリンクによる観光ルート等が確保出来ていないことにあるのではないか。	1	②	既存の基幹道路ネットワークを適切に維持修繕・更新し、機能強化を図りながら、「今後順次整備を進める基幹道路」の2050年までの完成を目指します。
災害への備え	但馬では、大雪などにより国道が大渋滞するため、災害に強い道路の早期整備を望む。	3		
地域医療の充実	災害時の代替路確保や救急医療の速達性強化は、兵庫県民の安心・安全を守る大きな役割を果たし、その印象を他の都道府県に伝える事で、兵庫県の人口増加、活性化につながるのではないか。	1		
	香住から豊岡病院へは30分程度かかるが、緊急時は遠く感じた。道路整備により時間が短縮されれば安心である。	1		
	平成31年開院予定の県立丹波医療センター（仮称）が医療機関としての役割を担うために隣接する篠山、東播、福知山方面からのアクセス強化が必要ではないか。	1	③	ご意見を参考に、地域の実情に合わせて道路整備を進めてまいります。
淡路島内の山間部では基幹道路へのアクセスが悪いため、3次医療機関への到達時間短縮に向けた対策が必要である。	1			

構想路線	北播磨地域から神戸方面へのアクセスは、容易ではない。地域の産業発展の観点からも神戸港や神戸空港へ通じる道路は、重要であると考え、早期に整備して欲しい。	1	③	構想路線については、社会経済情勢等の変化に応じて整備の必要性を検討してまいります。
	農畜水産物の販路拡大、観光振興及び大規模災害時に代替路として果たす役割が期待できる紀淡海峡ルートの整備は重要である。	2		
	紀淡連絡道路は淡路にとって重要であり、ひょうご基幹道路ネットワーク 2050 に加えていただきたい。せめて「紀淡連絡道路」として構想路線位置づけてはどうか	1	②	紀淡海峡を渡る区間については、構想路線D（紀淡海峡を渡り、大阪湾の環状道路を形成する路線）の一部として位置づけています。
留意事項	財源確保および負担のありかたは極めて重要な留意事項であるが、一方で、住民や道路利用者との合意形成が難しい。利用者負担は、利用することのメリットを継続して訴えていくことが必要である。	1	③	ご意見を参考に、今後の道路の整備や有効活用を進めてまいります。
	民間資本の活用として、道路施設の商業利用促進など民間が進出しやすいしくみの創設等により、整備維持管理の費用を確保することも検討すべき。	1		
	東日本大震災での櫛の歯作戦や医療圏域の拡大など、具体例を挙げて基幹道路ネットワークの必要性を示すことが必要ではないか。	1	③	様々な機会をとらえて基幹道路ネットワークの整備効果や必要性をわかりやすく紹介して、PRしてまいります。
	北近畿豊岡自動車道の4車線化について、検討だけではなく、実現に向けた活動を期待する。	1	③	暫定2車線時の安全対策に配慮しながら、ネットワークの完成を優先して進めてまいります。

その他全般	<p>地域ごとに今後の維持管理方針を設定することで、あり方がよりわかりやすくなるのではないか。</p>	1	③	<p>地域の特性に応じた維持管理を行うことは重要な視点であり、既存の基幹道路ネットワークを適切に維持管理してまいります。</p>
	<p>2050年に向けた概ね30年後の目指すべき姿を見ると、地方在住者にとって、人口減少対策は期待できる内容ではない。基幹道路の整備により、観光面では期待できるが、自動車が運転出来ない高齢者は、公共交通や医療体制が充実した都市部の方が良く、地方での若者の定住に期待できないと感じる。地方としては、地域に合わせた道路整備を望む。</p>	1	③	<p>人口減少下においても、基幹道路は地域間の交流拡大等を支える社会基盤です。市町の地域活性化策とも連携を図ってまいります。</p>
	<p>神戸方面から但馬に来る際に、移動時間が短縮されると助かるが、但馬から出ていきやすくなり、人口減少対策になっているのかと感じる。</p>	1		
	<p>ひょうご基幹道路のあり方（案）は、持続可能な地域づくりを進め、兵庫五国それぞれの地域性を活かした活力の動脈として、将来の地域社会の活性化に繋がる。</p>	1	②	<p>既存の基幹道路ネットワークを適切に維持修正・更新し、機能強化を図りながら、「今後順次整備を進める基幹道路」の2050年までの完成を目指します。</p>